

委員長まとめ

昨年の反省もふまえ、報告時間を約 10 分に短縮して、質問、意見交換時間を増やした。

この日、多治見市では午後 1 時に 39.1℃を記録した。

瑞浪市内では 35℃であった。

熱中症対策で水分補給が叫ばれる。

議会側には水分補給の対策はないためあらかじめ3会場の区長さん宛てにお願いした。

次年度からは水分補給の準備をするべきと考える。

参加者数をみると陶町水上公民館 39 名、新山田区民会館 26 名、和合公民館 23 名となった。水上地区では連合区会や水上区が地域動員をかけてくれた。

いずれの会場も議会報告会を定期的に関くよう希望されている。

地元以外の議員の話が聞きたい、他地域の経験が聞けてよかった等の評価を得ている。

前半の議会報告では超深地層埋め戻し、広域連携では東美濃ナンバーに質問が集中した。

意見交換では医療、福祉、地場産業、移住定住、農産物直売所、道の駅など多方面の質問がでた。

以前のような地域土木要望は減った気がする。

それぞれ質問者からの意見提案もあり前向きな質問が多かった。

医療問題では広域連携もかわり現状の報告しかできなかったが理解してもらえた。

逆に休日救急診療所をもっと使っていただきたいとお願いした。

議会報告会も 8 年間 12 回 36 会場と回数を重ね 1350 人が参加された。議会が市民の皆さんと交流する重要な場となっている。

内には即対応の議員力が試される場として全員のさらなる研鑽が望まれる。